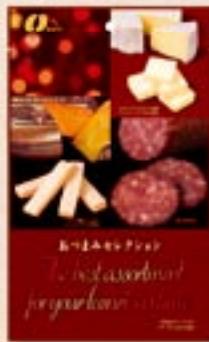


株主のみなさまへ

第61期報告書 平成20年4月1日～平成21年3月31日



 株式会社 **なとり**

証券コード：2922

ごあいさつ

株主の皆様には、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。
平素は「なとりグループ」に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに第61期(平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)報告書をお届けするにあたり、改めて皆様の日頃のご支援に深く感謝申し上げます。

今期は当社グループにとりまして、新たな中期事業計画「イノベーション63～新生なとりへの道～」の最初の事業年度でございました。米国の金融危機に端を発した世界規模での景気後退にみまわれた1年でございましたが、当社グループは今期におきましても多様化するお客様のニーズに真摯に対応しながら、

“新たなおつまみ市場の創出”を図るべく、当社グループの加工技術を最大限に活かした新製品開発と市場投入を行い企業価値の向上に努めております。

株主の皆様におかれましては、何卒一層のご支援を賜りますよう、宜しく願い申し上げます。

平成21年6月吉日

代表取締役社長
名取三郎



経営理念

株式会社なとりとそのグループは、自由闊達にして公正で節度ある企業活動により、
食文化の創造と発展を通して、顧客満足・株主還元・社会貢献の実現を図り、
社会的に価値ある企業として、この会社に係わるすべての人が誇りを持てる会社を目指します。

ミッション

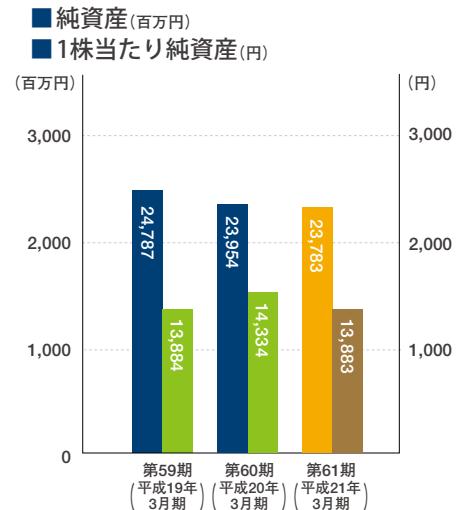
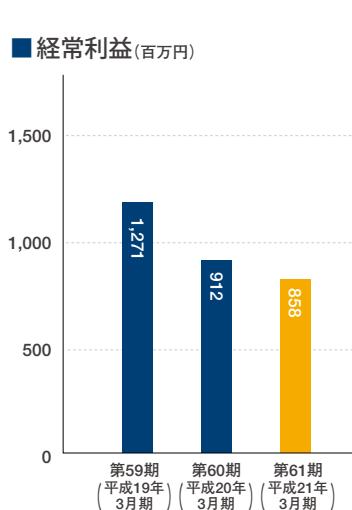
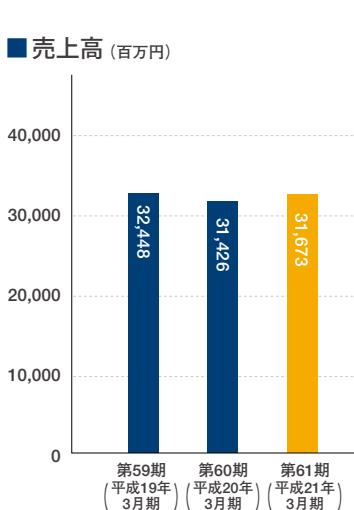
素材の風味を活かし、
生産・流通・販売において温度帯にとらわれず、
手軽に食べられ、様々な食シーンにマッチする、
楽しさの演出に欠かせないおつまみを
お客様にお届けします。

なとり「新おつまみ宣言」

素材の風味を活かし、
手軽に食べられ、
楽しさを演出するおつまみを
お届けします。

財務ハイライト

	第59期 (平成19年3月期)	第60期 (平成20年3月期)	第61期 (平成21年3月期)
売上高 (百万円)	32,448	31,426	31,673
経常利益 (百万円)	1,271	912	858
当期純利益 (百万円)	739	522	178
1株あたり当期純利益 (円)	51.88	35.26	12.07
総資産 (百万円)	24,787	23,954	23,783
純資産 (百万円)	13,884	14,334	13,883
自己資本比率 (%)	56.0	59.8	58.4
1株あたり純資産 (円)	946.14	952.91	954.69



株主の皆様へ

第61期を振り返って

当連結会計年度の当社グループを取り巻く環境は、年度前半には中国産問題や原材料高騰が食品業界を直撃し、年度後半には世界的な景気減速に影響を受けた国内消費の低迷に直面するなど極めて厳しい経営環境にあったといえます。

当社グループにおきましても、年度前半には中国産問題の影響により、いか以外の水産加工製品の一部や梅、栗製品などの売上が低迷しました。また、原材料高騰に対応するため製品規格の見直しを余儀なくされ、一次的に売上が減少しました。工場動力燃料費や物流費用の増加などのコスト面の影響もあり、第2四半期連結会計期間における売上高は15,042百万円と前年同期にくらべ3.7%の減少、経常利益は221百万円と前年同期比50.1%の減少となりました。年度後半に入りましても、米国発の金融危機が各国の実態経済に大きな影響を与えるなど依然として厳しい経営環境が続きました。

しかしながら、当社グループはこうした環境変化に機敏に対応することで売上の回復に努めました。例えば、珍味売場では

競合他社との差別化とおつまみ市場の拡大を図るため、主力のいか製品やチーズ製品等において原料や産地、食感にこだわった製品開発を行うなど、プレミアム(高付加価値)商品を充実させました。また、珍味売場以外では、素材菓子ジャンルで「ねりころ梅」、「ねり飴こんぶ」、「ねり飴こんぶ黒糖」など新製品を発売しました。さらに、「節約」、「肉食回帰」などの購買マインドにあわせ、低価格帯シリーズの「ジャストパック」やチルド製品の「フードパック」、レトルト製品などの拡販を行いました。

また、コスト削減策についても全社を挙げて取り組み、生産性向上と歩留まりの改善、原資材調達コストの削減、物流コストの適正化、アイテム数の削減、人件費の増加抑制、営業所の利益改善などに努めました。これらの結果、当連結会計年度の売上高は31,673百万円(前期比0.8%増)、営業利益は862百万円(前期比3.5%減)、経常利益は858百万円(前期比5.9%減)、当期純利益は178百万円となりました。

今後の見通しについて

国内景気を浮揚させる対策として政府による積極的な財政出動が実施されているものの、景況感はまだ改善する傾向がみられません。第62期におきましても当社を取り巻く経営環境は厳しい状況が続くものと考えています。しかしながら、当社グループは、今後も着実に成長していくため、「新たなおつまみ市場の創出」として、2カテゴリー・9ジャンルごとの戦略に対応した新製品開発と新ジャンル開発を引き続き進めてまいります。

具体的にはお客様のニーズを的確にとらえ、新たな“食シーン”を創造する製品やプレミアム製品、そして「安全・安心と共に質を伴った低価格製品の開発」に取り組んでいきます。当社グループは中期事業計画の戦略を通じて、「イノベーション63～新生なとりへの道～」で掲げた目標を達成したいと考えています。

中期事業計画「イノベーション63～新生なとりへの道～」 の進捗状況

4つの経営目標

中期事業計画「イノベーション63～新生なとりへの道～」は、当社グループの持続的成長と企業価値向上を実現させるために構築した3カ年事業計画です。当計画では“新たなおつまみ市場の創出”、“自己革新による収益力の強化”、“グローバル化の一層の推進”、“社会的責任～安全・品質・環境～の重視”といった4つの経営目標を掲げ、その達成に向けて日々努力を重ねています。

新たなおつまみ市場の創出と 収益力の強化

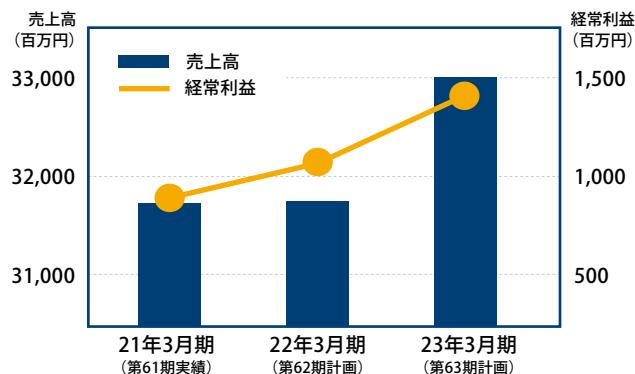
当連結会計年度におきましては、原材料価格の高騰や世界的な景気低迷など急激な外部環境の変化があったことにより、残念ながら当初計画の定量目標は達成することはできませんでした。しかしながら、そのような状況の中においても、当社の技術力を十分に活かした新形態商品・新食感商品の開発を

推進し、それら商品を積極的に市場投入したことにより売上高は順調に拡大しました。特に開発体制については、営業部門とマーケティング部門・開発部門との連携を強化した結果、これまで以上に競争力の高い商品を開発することが可能な強い組織体制を構築することができました。また、収益力改善を目標としたコスト改革も大きく進んだことから大変意味のある1年であったと考えています。さらに、食育に関しましても食品メーカーの社会的責任として取り組み、「噛んで健康」のアイキャッチマークをあたりめなどの製品に表示し、それをホームページ上でアピールすることで、いかが「噛む食品」として優れていることや「咀嚼の大切さ」をお客様に伝える活動を実施しました。東京都北区における「ふるさと北区区民まつり」にも出展し、「咀嚼の重要性」を書いたリーフレットを配布して説明するなど、食育活動と地域貢献に取り組みました。当社グループは今後も当計画最終年度における目標達成を目指して新たなおつまみ市場の創出と自己革新による収益力の強化に邁進していきます。“新生なとり”にどうぞご期待下さい。

■新・中期経営計画の構成



■経営目標



「一度は食べていただきたい」シリーズ開発秘話

■ “おいしさ”だけでは売れないという経験

「一度は食べていただきたいシリーズ」は2007年9月に発売され、その後、順調に売上を伸ばしてきました。現在では当社の売れ筋商品としてすっかり定着してきましたが、このシリーズの製品化に至るまでの道のりは決して平坦ではありませんでした。実は、「一度は食べていただきたいシリーズ」発売の約2年前に“味へのこだわり”をコンセプトに掲げたシリーズを発表していたのです。当社開発チームの“おいしさ”への自信に満ちた商品として、当社はこのシリーズを2005年3月に「こだわりシリーズ」として発売しました。しかしながら、味に対する評価



は高かったものの、思ったほどよく売れませんでした。お客様から支持されない理由を徹底的に調査した結果、“透明のパッケージ”に原因があることがわかりました。

■ “おいしさ”を“伝えること”ができるブランディング

当社開発チームは“おいしさ”に徹底的にこだわる中で“売れる商品づくり”の視点が欠けてしまっていたことを反省し、パッケージデザインにイメージ写真をあしらったアルミパッケージを採用し、カラーを“質感のあるゴールド”にしました。そして、ネーミングも“一度は食べていただきたい”とコンセプトをそのまま活かすことで、“おいしさ”を“伝えること”ができるブランディングを行いました。その結果、「これはいい」、「これなら行ける」と多くのバイヤーの方々からの声が集まるとともに、お客様にもその価値を認めていただき、当社の主力商品としての地位を築くまでとなりました。2009年3月、当社はもっと多くのお客様にこのシリーズの“おいしさを伝えたい”という気持ちからコンセプトをそのままにデザインをリニューアルいたしました。

※出典：「オフィステン・トッテン」制作出版物より



一度は食べていただきたい
おいしいあたりめ



一度は食べていただきたい
おいしいさきいか



一度は食べていただきたい
おいしい皮付いか燻



一度は食べていただきたい
熟成チーズ鱈



一度は食べていただきたい
粗挽きサラミ



一度は食べていただきたい
おいしいサラミ

新製品のご紹介

南イタリアの美味しいサラミグリーンオリーブ風味

イタリア・カラブリア地方の伝統的なサラミの味を再現した「南イタリアの美味しいサラミ」の第二弾です。グリーンオリーブとマイルドな唐辛子のペーストを使用した、香り豊かな味わいのサラミです。



ディップするおつまみ スティックエビフライ&オリジナルタルタルソース

人気の「エビフライ」と「タルタルソース」の味わいを、手軽なおつまみで実現しました。そのままでも、ディップしても楽しめる、1度で2度おいしいおつまみです。エビ風味のサクサクフライとオリジナルタルタルソースの相性が抜群の逸品です。



かぶりつきビーフジャーキー

食べ応えを楽しむには大きなものにかぶりつくのが一番！袋をあけたらそのままワイルドにかぶりつくことで、噛み応えが楽しめる上にワイルドに噛み切ることもできます。粗挽きブラックペッパーとガーリックチップが食欲をもり立てます。



こんがりとザクザクに焼きあげた チーズ鱈&アーモンド

当社ロングセラーのチーズ鱈をこんがりとザクザクに焼きあげ、アーモンドをミックスしました。「スナック」でも「珍味」でもない、新しい味と食感が楽しめるおつまみです。少量でも食べ応えと満足感を得ることができ、お酒のお供にぴったりです。



■モンドセレクション受賞

世界的に権威ある食品品評会である『モンドセレクション』において、「一度は食べていただきたい熟成チーズ鱈」が3年連続で金賞を受賞しました。“おいしさ”や低温で一年以上熟成されたチェダーチーズを配合した“こだわり”、“パッケージデザイン”などが総合的に評価されたものと考えております。また、「一度は食べていただきたい粗挽きサラミ」も2年連続で金賞を受賞、「帆立貝柱燻製」は初めて金賞を受賞しました。



3年連続金賞受賞



2年連続金賞受賞



金賞初受賞

商品ラインナップ ～素材の風味を活かし、手軽に食べ

珍味売場 28,888百万円 (91.2%)

●水産加工製品



一度は食べていただきたい
おいしいあたりめ



焼きするめ
こだわり醤油味



おつまみ市場
いかスモーク



味なおつまみ
ささいか漁火



いかの唐揚げピリ辛味



ひとくちいか燻製



帆立貝柱燻製



チェダーチーズ入かまぼこ



味わいめぐりつまみ箱



技の逸品鮭とば



おいしい梅ほし昆布



スパイシーいかフライ

総売上高
31,673
百万円

●農産加工製品



JUSTPACK
渚あられ&ピーナツ



JUSTPACK
柿ピー



ハッピーバリュー
アーモンドミックス



おつまみPersonal
つぶ餅ピーナツ

●すなっくな珍味製品



こんがりサクサクに焼きあげた
チーズ鱈&アーモンド

●その他製品



酒肴逸品
うずらの味付けたまご



酒肴逸品
ほたて塩焼き

珍味外売場 2,720百万円 (8.6%)

●小物菓子製品



ベンシルカルパス



ソースカツ



駄菓子屋さん
焼かまぼこ



駄菓子屋さん
皮付きささいか

●素材菓子製品



素材のこころ
梅すっきり



素材のこころ
あじわい昆布



ふにくにこんぱく
グレープ



ねり飴こんぶ黒糖

られ、楽しさを演出するおつまみをお届けします。～

●畜肉加工製品



一度は食べていただきたい
粗挽きサラミ



南イタリアの
おいしいサラミ



YourSelect
ミニサラミ



ハッピーバリュー
ジャッキーカルパス



Mr. ビーフジャーキー



ごまだれ風味のやわらかい
ビーフジャーキー

●酪農加工製品



一度は食べていただきたい
熟成チーズ轄



チーズ轄Grand



濃厚チーズ轄



おつまみ市場
チーズ轄



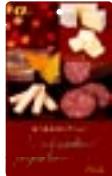
ハッピーバリュー
チーズ轄



JUST PACK
ミニスモークチーズ



酒肴逸品
焼き貝つぼ焼風味



おつまみセレクション
第一弾



おつまみセレクション
第二弾



オールスター
珍味プレーJr.

●チルド製品



くちどけチーズたたら
Grand



くちどけチーズたたら
プレーン



いかステーキ七味焼



つぼ焼風貝の醤油焼き

■製品群別の売上高・構成比

珍味売場

水産加工製品	16,754百万円	52.9%
畜肉加工製品	4,384百万円	13.8%
酪農加工製品	4,177百万円	13.2%
農産加工製品	1,030百万円	3.3%
すなっくな珍味製品	33百万円	0.1%
その他製品	2,508百万円	7.9%

珍味外売場

小物菓子製品	630百万円	2.0%
素材菓子製品	1,533百万円	4.8%
チルド製品	556百万円	1.8%

財務の状況

■連結貸借対照表

(単位：百万円) ※単位未満は切り捨て

	当期末 (平成21年3月31日現在)	前期末 (平成20年3月31日現在)
資産の部		
現金・預金	840	1,033
受取手形・売掛金	4,761	4,646
たな卸資産	4,354	4,450
繰延税金資産	175	168
その他	161	356
貸倒引当金	△12	△13
流動資産合計	10,280	10,642
有形固定資産	12,144	11,763
無形固定資産	150	133
投資その他の資産	1,207	1,415
固定資産合計	13,503	13,312
資産合計	23,783	23,954

当期末
(平成21年3月31日現在) 前期末
(平成20年3月31日現在)

	当期末 (平成21年3月31日現在)	前期末 (平成20年3月31日現在)
負債の部		
支払手形・買掛金	2,999	2,823
短期借入金	2,779	2,664
1年以内に返済予定の長期借入金	400	300
未払法人税等	257	177
賞与引当金	259	290
その他	1,339	1,192
流動負債合計	8,037	7,448
長期借入金	900	1,301
繰延税金負債	478	586
役員退職慰労引当金	270	203
その他	213	81
固定負債合計	1,863	2,172
負債合計	9,900	9,620

純資産の部		
資本金	1,975	1,975
資本剰余金	2,290	2,290
利益剰余金	10,496	10,496
自己株式	△815	△432
株主資本合計	13,946	14,330
その他有価証券評価差額金	△62	3
評価・換算差額等合計	△62	3
純資産合計	13,883	14,334
負債・純資産合計	23,784	23,954

■連結損益計算書

(単位：百万円) ※単位未満は切り捨て

	当期	前期
	(平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで)	(平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで)
売上高	31,673	31,426
売上原価	21,485	21,171
売上総利益	10,188	10,254
販売費及び一般管理費	9,326	9,360
営業利益	862	893
営業外収益	82	90
営業外費用	85	72
経常利益	858	912
特別利益	50	6
特別損失	260	54
税引前当期純利益	648	865
法人税、住民税及び事業税	437	426
法人税等還付税額	—	△54
法人税等調整額	32	△30
当期純利益	178	522

■連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円) ※単位未満は切り捨て

	当期	前期
	(平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで)	(平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,444	△430
投資活動によるキャッシュ・フロー	△871	△1,341
財務活動によるキャッシュ・フロー	△756	801
現金及び現金同等物の増減額	△182	△971
現金及び現金同等物期首残高	726	1,698
現金及び現金同等物期末残高	543	726

POINT

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ1億82百万円減少し、5億43百万円となりました。営業活動によるキャッシュ・フローは14億44百万円(前年同期比18億75百万円増) 投資活動によるキャッシュ・フローは、マイナス8億71百万円(同4億70百万円増)、財務活動によるキャッシュ・フローは、マイナス7億56百万円(同15億57百万円減)となりました。

■連結株主資本等変動計算書(自平成20年4月1日 至平成21年3月31日)

(単位：百万円) ※単位未満は切り捨て

	株主資本					評価・換算差額等	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	
平成20年3月31日残高	1,975	2,290	10,496	△432	14,330	3	14,334
連結会計年度中の変動額							
剰余金の配当	—	—	△179	—	△179	—	△179
当期純利益	—	—	178	—	178	—	178
自己株式の取得	—	—	—	△383	△383	—	△383
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)	—	—	—	—	—	△67	△67
連結会計年度中の変動額合計	—	—	—	△383	△383	△67	△450
平成21年3月31日残高	1,975	2,290	10,496	△815	13,946	△62	13,883

財務の状況

■個別貸借対照表

(単位：百万円) ※単位未満は切り捨て

	当期末 (平成21年3月31日現在)	前期末 (平成20年3月31日現在)
資産の部		
現金・預金	518	636
受取手形・売掛金	4,449	4,286
たな卸資産	4,228	4,341
繰延税金資産	107	117
その他	238	378
貸倒引当金	△11	△11
流動資産合計	9,531	9,748
有形固定資産	9,536	9,119
無形固定資産	145	127
投資その他の資産	1,610	1,688
固定資産合計	11,292	10,936
資産合計	20,823	20,684

負債の部

支払手形・買掛金	2,954	2,816
短期借入金	2,070	1,890
1年以内に返済予定の長期借入金	183	183
未払法人税等	206	164
賞与引当金	187	206
その他	1,098	935
流動負債合計	6,700	6,196
長期借入金	316	500
繰延税金負債	473	582
役員退職慰労引当金	270	203
その他	140	21
固定負債合計	1,201	1,307
負債合計	7,902	7,504

■個別株主資本等変動計算書(自平成20年4月1日 至平成21年3月31日)

(単位：百万円) ※単位未満は切り捨て

	株主資本					評価・換算差額等	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	
平成20年3月31日残高	1,975	2,290	9,342	△432	13,176	4	13,180
事業年度中の変動額							
剰余金の配当	—	—	△179	—	△179	—	△179
当期純利益	—	—	370	—	370	—	370
自己株式の取得	—	—	—	△383	△383	—	△383
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額(純額)	—	—	—	—	—	△67	△67
事業年度中の変動額合計	—	—	191	△383	△192	△67	△259
平成21年3月31日残高	1,975	2,290	9,533	△815	12,983	△62	12,921

純資産の部

	当期末 (平成21年3月31日現在)	前期末 (平成20年3月31日現在)
資本金	1,975	1,975
資本剰余金	2,290	2,290
利益剰余金	9,533	9,342
自己株式	△815	△432
株主資本合計	12,983	13,176
その他有価証券評価差額金	△62	4
評価・換算差額等合計	△62	4
純資産合計	12,921	13,180
負債・純資産合計	20,823	20,684

■個別損益計算書

(単位：百万円) ※単位未満は切り捨て

	当期 (平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで)	前期 (平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで)
売上高	29,332	28,918
売上原価	20,481	20,133
売上総利益	8,851	8,785
販売費及び一般管理費	8,021	7,920
営業利益	830	864
営業外収益	142	152
営業外費用	132	88
経常利益	839	929
特別利益	28	1
特別損失	173	39
税引前当期純利益	694	891
法人税、住民税及び事業税	377	379
法人税等還付税額	—	△54
法人税等調整額	△52	11
当期純利益	370	555

開発・生産・営業・物流拠点



メイホク食品



函館なとり



全珍



埼玉工場

札幌(営) 北日本(配)
 メイホク食品(株) 帯広(営)
 (株)函館なとり
 函館(営)



食品総合ラボラトリー

青森(営)
 秋田(営) 盛岡(営)

山形(営) 東北(配)
 新潟(営) 仙台(営)
 郡山(営)

金沢(営) 富山(営) 長野(営)

松本(営) 中部日本(配)
 京都(営) 名古屋(営) 甲府(営)
 大阪(営) 関西(配) 静岡(営)

前橋(営) 宇都宮(営) 水戸(営)
 首都圏(配) 埼玉工場
 蓮田(営)

西東京(営) 本社
 食品総合ラボラトリー
 東京(営) (株)上野なとり
 横浜(営) 千葉(営)

開発拠点

食品総合ラボラトリー
 東京都北区豊島8丁目3番3号

生産拠点

(株)なとり埼玉工場
 埼玉県久喜市清久町1番6号
 メイホク食品(株)
 北海道北斗市清水川1220番1号
 (株)函館なとり
 北海道北斗市清水川1142番12号
 (株)全珍
 広島県呉市広末広1丁目3番28号

営業拠点

営業所全国35カ所

物流拠点

首都圏配送センター
 埼玉県加須市大桑2丁目23番1
 北日本配送センター
 北海道札幌市東区19条東2丁目1番4号
 東北配送センター
 宮城県仙台市若林区卸町東2丁目2番7号
 中部日本配送センター
 愛知県名古屋市中川区柳森町803
 関西配送センター
 大阪府東大阪市本庄中1丁目1番33号
 九州配送センター
 福岡県大野城御笠川14丁目7番16号

連結子会社

国内9社

会社概要・企業集団の状況

会社の概要 (平成21年3月31日現在)

会社名	株式会社なとり
本社	東京都北区王子5丁目5番1号
設立	昭和23年6月
資本金	1,975,125,250円
従業員数	566名(男子394名、女子172名)
主要取引銀行	三菱東京UFJ銀行、みずほ銀行、商工組合中央金庫、農林中央金庫、りそな銀行、三井住友銀行

企業集団の状況

当社の企業集団は、子会社9社を連結対象会社として構成され、おつまみ(2カテゴリー・9ジャンルを機軸とし、珍味売場向け6製品群「水産加工製品」「畜肉加工製品」「酪農加工製品」「農産加工製品」「すなっくな珍味製品」「その他製品」、珍味売場以外の3製品群「小物菓子製品」「素材菓子製品」「チルド製品」)、総菜製品他、食品全般の製造・販売を主な内容として事業活動を展開しております。また、所有不動産の有効的な活用を目的とした賃貸事業も行っております。

役員 (平成21年6月26日現在)

取締役会長	林 徹
代表取締役社長	名取 三郎
代表取締役副社長	名取 雄一郎
取締役常務執行役員	出島 信臣
取締役常務執行役員	小林 眞
取締役上席執行役員	小嶋 利光
取締役上席執行役員	北見 弘之
取締役(社外)	岡崎 正憲
取締役(社外)	中尾 誠男
監査役(常勤)	井沼 克昭
監査役(社外)	割出 雄一
監査役(社外)	河合 洸一
監査役(社外)	大野 二朗
上席執行役員	水野 政裕
上席執行役員	西村 豊
上席執行役員	今関 利夫
執行役員	永井 邦佳
執行役員	山形 正
執行役員	鎌田 達夫
執行役員	安田 正伸

株主優待につきまして

平成21年3月31日現在、当社株式を100株以上保有の株主の皆様に対して、よりすぐりの商品を贈呈いたしております。

■優待内容

100株以上1,000株未満	2,000円相当
1,000株以上	3,000円相当

なお、優待品は定時株主総会終了後に発送いたしますので、皆様の手元へお届けするのは7月上旬になる予定でございます。何卒ご了承のほどよろしくお願い申し上げます。



2,000円相当



3,000円相当

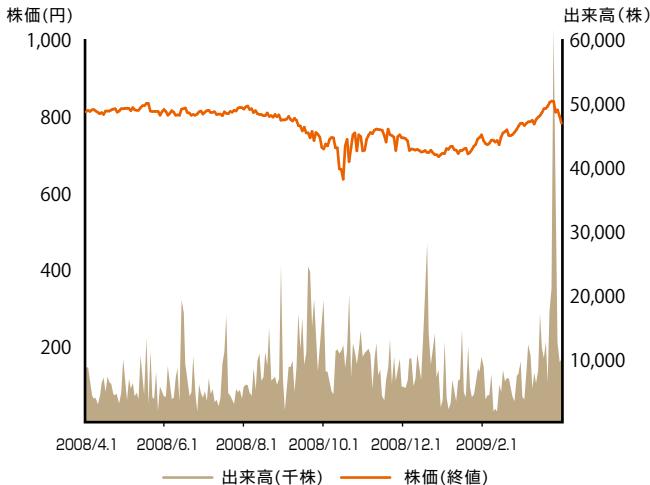
株式の状況 (平成21年3月31日現在)

- 発行可能株式総数 40,000,000株
- 発行済株式の総数 15,532,209株
- 株主数 25,454名
- 大株主

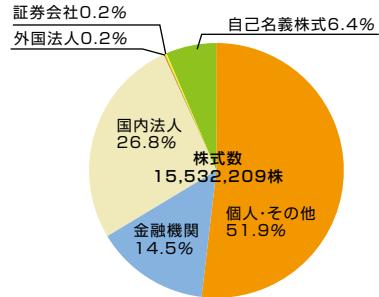
株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社名旺エステート	2,517,000	16.2
有限会社メイオウ	837,336	5.4
名取三郎	677,408	4.4
横山よし子	672,684	4.3
名取雄一郎	544,100	3.5
なとり取引先持株会	511,520	3.3
なとり社員持株会	413,960	2.7

(注)上記のほか当社所有の自己株式989,532株があります。

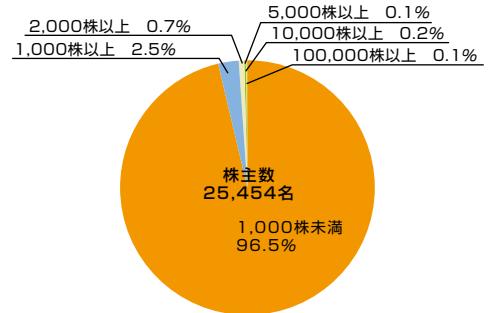
●株価チャート



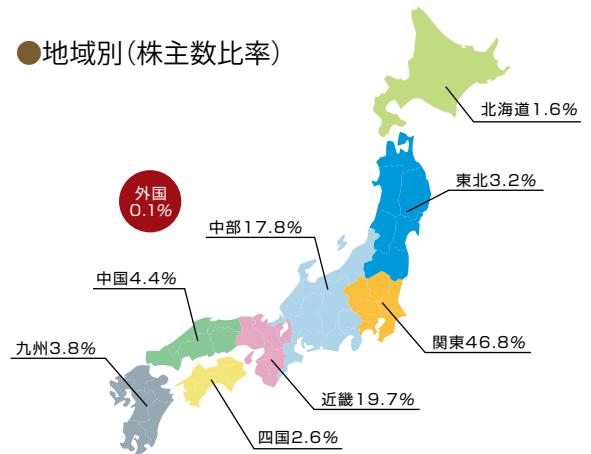
●所有者別(株式数比率)



●所有株式数別(株主数比率)



●地域別(株主数比率)



株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月下旬
基準日	定時株主総会・期末配当：毎年3月31日 中間配当：毎年9月30日
公告の方法	電子公告の方法によります。ただし、電子公告によることができないやむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 電子公告ホームページ http://www.natori.co.jp/koukoku/index.html
株主名簿管理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
同事務取扱所 (郵便物送付先) (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-78-2031 (フリーダイヤル)

・住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

・未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

・株主様のご住所・お名前に使用する文字に関してのご案内

株券電子化実施に伴い、株主様のご住所・お名前の文字に、株式会社証券保管振替機構(ほふり)が振替制度で指定していない漢字等が含まれている場合は、その全部または一部をほふりが指定した文字またはカタカナに変換して、株主名簿にご登録いたしております。このため、株主様にご送付する通知物の宛先が、ほふりが指定した文字に置換えられる場合がありますのでご了承ください。株主様のご住所・お名前として登録されている文字については、お取引の証券会社等にお問い合わせください。

・上場株式配当等の支払いに関する通知書について

租税特別措置法の平成20年改正(平成20年4月30日法律第23号)により、平成21年1月以降にお支払いする配当金について株主様あてに配当金額や源泉徴収税額等を記載した「支払通知書」を送付することが義務づけられました。配当金領収書にてお受取の株主様は年末または翌年初に「支払通知書」を送付いたしますのでご覧ください。口座振込を指定されている株主様は配当金支払いの際送付している「配当金計算書」が「支払通知書」となります。なお、両書類は確定申告を行う際その添付資料としてご使用いただくことができます。



HOME PAGE <http://www.natori.co.jp>